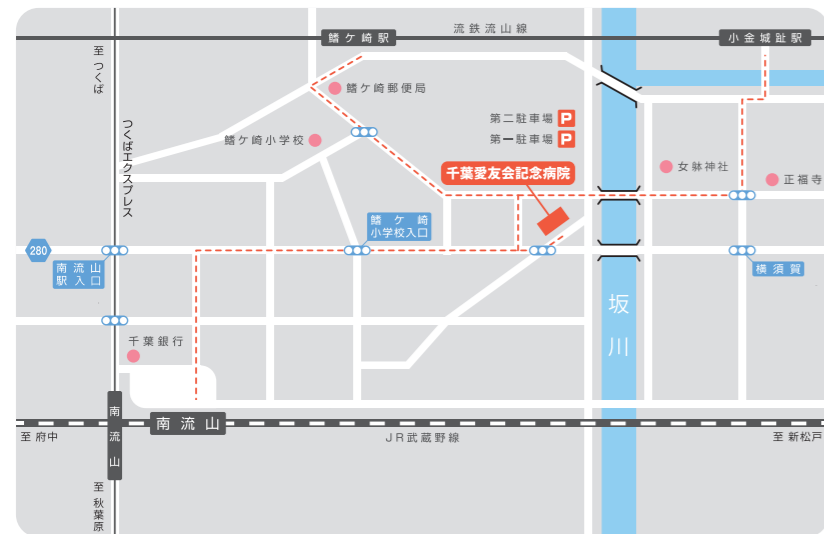


電車でお越しの方



路線図

車でお越しの方



- 電車でお越しの方**
- 南流山駅 (JR武蔵野線・つくばエクスプレス線) をご利用の方
南流山駅より徒歩約 12 分
 - 鱒ヶ崎駅・小金城趾駅 をご利用の方
鱒ヶ崎駅より徒歩約 10 分、小金城趾駅より徒歩約 10 分
 - 新松戸駅 (JR・地下鉄千代田線) をご利用の方
新松戸駅よりタクシーで約 8 分 (およそ 900 円)
- 車でお越しの方**
- 常磐道 茨城方面よりお越しの方
流山 IC より約 6.5km、所要時間約 18 分
 - 常磐道・東京外環自動車道 東京方面よりお越しの方
三郷 IC より約 7.0km、所要時間約 20 分
- 無料送迎バス**
南流山駅 (JR 武蔵野線・つくばエクスプレス線) より送迎バス約 5 分

千葉愛友会記念病院 無料バス 時刻表

| | 月～土 | | 月～金 | |
|---------|-----|-------|-----|-------|
| | 病院 | 南流山北口 | 病院 | 南流山北口 |
| 7時 | - | 40 | 00 | 05 |
| 8時 | 50 | 55 | 20 | 25 |
| | 05 | 10 | 40 | 45 |
| 9時 | 20 | 25 | 00 | 05 |
| | 40 | 45 | 20 | 25 |
| 10時 | 00 | 05 | 40 | 45 |
| | - | - | 00 | 05 |
| 11時 | 40 | 45 | 20 | 25 |
| | 00 | 05 | 40 | 45 |
| 12時 | 20 | 25 | 00 | 05 |
| | 40 | 45 | 20 | 25 |
| 13時 | 00 | 05 | 40 | 45 |
| | 20 | 25 | 00 | 05 |
| (土) 最終便 | 40 | 45 | 20 | 25 |

※土曜日は、病院発 13:40 南流山駅北口発 13:45 が最終便です。
※日・祝祭日・年末年始は運行致しません。

- 快適にご乗車いただくため、バス乗車時には以下の事柄をお守りください。
- ※安全運行のため途中下車・途中乗車はできません。
 - ※走行中は席を立ったり、運転士に話しかけたり、窓から手や顔を出さないでください。
 - ※携帯電話は電源を切るかマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
 - ※乗車中の飲食・喫煙はご遠慮ください。
 - ※所要時間は病院行き・南流山駅行き北口共に通常 5~6 分ですが、道路事情により遅れることがあります。ご了承ください。
 - ※南流山駅は北口タクシー乗り場の前方に停車します。
 - ※南流山駅北口は長時間駐車ができないため到着後、すぐに発車します。

千葉愛友会

だより

VOL.22
2020.9

2020年 第22号
発行日: 2020年9月
[編集発行] 広報委員会
千葉県流山市鱒ヶ崎 1-1
電話 04(7159) 1611(代表)
<http://chibaiyu-kai.com/>



院長 石塚 朋樹

長い梅雨が明けた途端に猛暑の日々が続いております。毎年の事とはいえ、ジメジメとした不快な日々後に、35℃を超える日が続くことにはうんざりしてしまいます。皆様は暑さ対策に抜かりはありませんでしょうか？

「新しい生活様式」が徐々に浸透しているからでしょうか、誰もがマスクを着用して外を歩くという姿が当たり前になりました。テレビで1年前の日本の繁華街や観光地の場面を観るとマスクをしていない人ばかりで「周りの人にうつさないように気を付けて!」と、また、ラグビー・ワールドカップのスタンドで熱狂している人々が画面に映れば「大声出しちゃダメですよ!」と、思わず言いたくなってしまいます。感染の危険を感じることなく混雑した電車に乗ることや、マスクを着用しないことが当たり前の生活に早く戻ってほしいものです。

不自由な生活様式が増えた一方、リモート会議と呼ばれるインターネットを介したテレビ会議が広く行われるようになり、今まで会議に出席するために費やしていた移動時間がなくなり個人的には便利になった一面も実感しています。その他、日常の買い物ではキャッシュレス決済も広がりましたし、ハンコ

文化を見直す企業も増えているようでビジネスの面でも大きな変化が進んでいるように思われます。

感染制御に重きを置くか、経済の活性化を重視するかで色々な考えや対立する意見があります。今後、現時点で正しいと思われる生活様式を一人ひとりが自覚をもって取り入れていかないとならないと思います。コロナウイルス感染者は軽症の方が多いというのは事実ですが、重篤な病状になる方もいらっしゃると思います。社会の一員である以上、100%感染しない方法というのはありません。しかし避けられる危険、感染には十分に注意したいものです。

当院の現在(※)の感染予防体制につきましては、来院された方の正面玄関での体温測定、院内薬局の出入り口と駐車場に近い病院裏口の閉鎖、ご入院中の患者様への面会制限などを行っており、当院をご利用される皆様方にはご不便をおかけしております。今後のコロナウイルス感染の動向により、これらの予防体制の見直しも適宜行ってまいります。大変申し訳ございませんが、ご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

※2020年8月31日時点

病院理念

地域の人々に信頼され、
選ばれる病院

基本方針

- 患者様の権利・意思を尊重し、信頼される医療を提供いたします。
- 患者様が安全で安心できる医療に努めます。
- 医療人として自己研鑽し、医療の質向上に努めます。
- 地域基幹病院として、救急・周産期・小児医療の充実を図ります。
- 地域の関係機関と連携し地域医療に貢献いたします。

外科の紹介

外科 峯田 章

当院外科では、一般外科領域（外傷によるけがの治療や鼠径ヘルニアをはじめとする腹壁のヘルニアなど）の治療から、消化器疾患（食道、胃、小腸、大腸、肛門、肝臓、胆道、膵臓、脾臓など）や乳腺疾患の外科治療および化学療法（抗がん剤治療）を行っています。

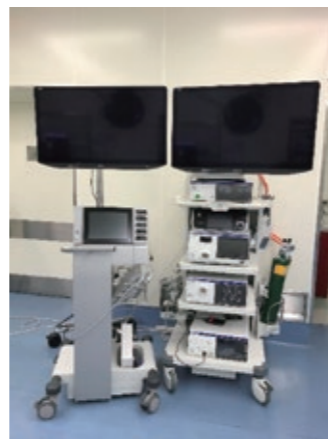
患者様の体に負担の少ない腹腔鏡手術を積極的に行っており、現在では消化器外科手術のほとんどが腹腔鏡下で行われるようになりました。それに合わせて昨年最新の手術機器を導入しました。腹腔鏡手術ではより解像度の高い4Kモニターを使用し、良好な視界での手術が可能となり、加えてIR（赤外光）観察による所属リンパ節の同定や腸管血流の診断により、より精度の高い手術が可能となっています。

また、休日夜間の緊急手術にも対応できる体制を整えており、患者様のニーズに最大限応えられるよう準備しています。

当院には回復期リハビリ病棟があるので、術後に体力が落ちた場合でも状態が回復するまで当院でリハビリテーションを継続することが可能であり、退院後の生活を考える医療相談員もおりますので、高齢者の方でも安心して治療が受けられます。

近年の病院体制は急性期と慢性期の両極化が進んでおり、両方の面を併せ持つ病院が少なくなっています。迅速な診断から最新の治療、リハビリテーションまで総合的に患者様をサポートできる体制があるのが当院の特徴です。

健康診断で異常を指摘されたときや、遠方の病院での治療途中で体力に自信がなくなってきたときなど、様々な状況にも対応しますので、お気軽にご相談ください。



整形外科 股関節・膝関節専門外来

※毎月第2・第4金曜日 14:00～(予約制)

- 2020年8月14日(金)より、股関節・膝関節専門外来が始まります。
- 担当は整形外科の長谷川医師になります。
- 股関節・膝関節に痛みがあるために、歩行に支障がある方が主に対象となります。(小児疾患は対象外です。)
- 特に変形性関節症等で他院通院中の方は、紹介状をお持ちください。
- 受診希望の方は、整形外科外来へ直接お問い合わせください。

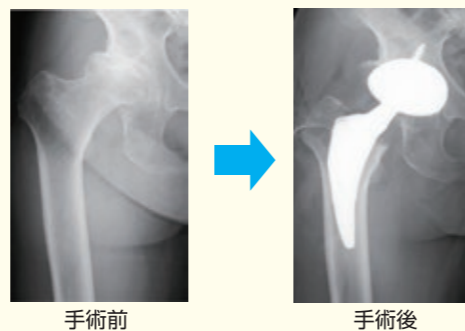
※長谷川医師のご紹介

- 2020年4月より当院赴任
- 赴任前は、筑波大学整形外科関連病院にて関節外来を専攻
- 人工股関節、人工膝関節手術を主にを行っています。

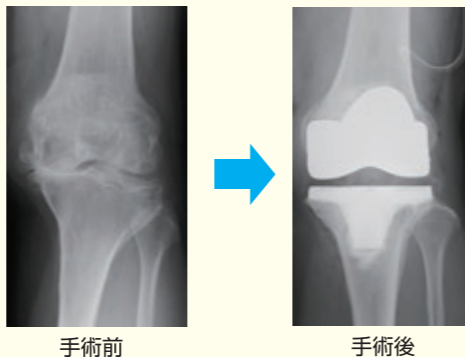


手術の一例

人工股関節 手術前後



人工膝関節 手術前後



医事課って、知っていますか？

医事課 課長 黒須 健嗣

「医事課」という言葉は、一般的にはあまり聞きなれない方も多いのではないのでしょうか？

簡単に言うと医事課とは、「医療事務」全般を行う部署の事です。

外来患者様に対する「外来医事業務」、入院患者様に対する「入院医事業務」、医療費の請求に係る「保険請求業務」、病院の運営に必要な「医事統計業務」などにより構成されており、これらの医療事務業務を行う病院内の部署を「医事課」と呼んでいます。

当院の医事課は、課長、係長、主任、一般職の29名で構成されています。

それでは、医事課業務の一部をご紹介します。

「外来医事業務」は、新患者登録、診察券作成、保険変更手続きを行うなどの「受付窓口」や患者様が受診した診療科で行った診療行為を計算し、診療費の請求を行う「会計窓口」で構成されています。また、患者様からの電話問い合わせなどにも対応しています。外線は1日100件以上あることから電話対応も大きな業務の1つと言えます。このように「外来医事業務」は、患者様との接点が多く、スムーズで丁寧な接遇を求められるポジションの1つです。

病院に来られた患者様が最初に訪れる受付窓口では、痛みや不安を抱えて受診される患者様に少しでも和らいでいただける言葉掛け、お待たせしないよう待ち時間の短縮にも取り組んでいます。

「入院医事業務」は、入退院の手続き及び入院診療費の算定・請求を行っています。入院会計では、患者様の病名や治療内容によって定められた診断群分類(DPC)に基づいて医療費を計算しています。入院患者様は、外来よりも医療費が高額になる可能性も多く、限度額認定証など高額医療費免除のための申請方法や公費医療等は重要な制度の説明など高い医療知識が求められます。

「保険請求業務」は、患者様の1ヶ月の診療行為にまとめた診療報酬明細書(レセプト)を作成し、保険者へ請求する業務です。この保険請求業務こそが、他の事務職にはない医事課職員の専門性を生かした特徴的な業務です。また請求するだけでなく、診療報酬の返戻・査定、請求漏れ防止にも取り組んでいます。

「医事統計業務」は、保険請求業務などから得られるデータを統計として取りまとめ、病院の運営資料として作成し報告しております。この診療データも病院の運営には重要な1つと言えます。

簡単に医事課業務を紹介しましたが、医事課職員は病院の理念である「地域の人々に信頼され、選ばれる病院」を目指し、これからも医事課職員の保険請求の知識の向上や接遇やマナーの教育を行い、いつも笑顔で明るい窓口業務を心掛けていきます。

